

2023年度

力ヤ草橋

福山市新市町地内

橋梁修繕工事実施設計書

工
事
概
要

橋長	L= 3.5m
幅員	W= 6.4m
ひび割れ補修工	L= 3m
断面修復工	V= 0.17m ³
表面保護工	A= 23m ²
地覆工	L= 9m
排水施設工	L= 8m
舗装工	A= 22m ²

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（カヤ草橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- 「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の兼務

次のいずれかの条件に該当する場合は、現場代理人の兼務を認めます。

（特記仕様書に現場代理人の兼務を認めない記載がある場合を除きます。）

- （1）本市（上下水道局を含む。）発注の設計金額 500万円未満の工事である場合
- （2）本市（上下水道局を含む。）発注の設計金額 500万円以上 4,000万円未満（建築一式工事の場合は500万円以上 8,000万円未満）の工事である場合。ただし、兼務できる工事の件数は、1人3件までとします。

【災害復旧工事の取り扱い】

- ・請負金額4,000万円未満（建築一式工事の場合は 8,000万円未満）の災害復旧工事については、同一の現場代理人が兼務 することができる件数に制限を設けません。
- ・本市（上下水道局を含む。）発注の設計金額 4,000万円 以上（建築一式工事の場合は8,000万円 以上）の工事に配置される現場代理人が、災害復旧工事を兼務 する場合は、密接な関係があり、全ての工事箇所の間隔が25k m程度の公共工事に限り兼務できる工事の件数は、1人5件までとします。
- （3）同一敷地内又は近接する工事（至近距離1 km 以内）で、同種工事（共通仮設費及び現場管理费率算定表の中でいう工種区分が同一のものをいう。）となる場合
- （4）前工事と後工事が一体の構造物として完成してはじめて機能を発揮するもので、後工事が随意契約により締結される場合
- （5）工事現場が完了し、完成通知書等の書類全てを提出している場合

※密接な関係とは、工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当の部分の同一の下請け業者で施工する場合を含む）をいう。

第6節 工事に着手すべき期日について

受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第3節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第4章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとし、別紙のいずれかのデザインとする。

- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。

- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。

- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。

- ・ロゴ標示期限は2026 年（令和8 年）3 月31 日とする。

（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 76 福山市(新市) 00-05.11.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
ひび割れ補修工 【材料種類】	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合		構造物			Y1G03240402 レベル4
断面修復工	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0001 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.17m3		構造物			S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
充填工					Y3900 レベル3
	1	式			
充填					Y4900 レベル4
充填工					V2000 00
	1	式			単第0 -0003 表
表面保護工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
表面含浸					Y1G03240601 レベル4
		橋			
表面含浸工 スーパーシールド工法相当					V1000 00
	23	m2			単第0 -0006 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
地覆工					Y1G032104 レベル3
	1	式			
地覆取替 【形状寸法】					Y1G03210401 レベル4
		m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地覆取替工 L側	3	m			V5100 00 単第0 -0010 表
地覆取替工 R側	6	m			V5200 00 単第0 -0017 表
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
水切 【材料種類】		m			Y1G03210302 レベル4
水切工 橋梁床版用後付け型水切 1橋当り20m未満	1	橋			V4000 00 単第0 -0018 表
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
橋面防水工	1	式			Y1G030402 レベル3
橋面防水 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211 レベル4
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	22	m2			SS000255 00 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
オーバーレイ工					Y1G030404 レベル3
	1	式			
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1G03040405 レベル4
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚20mm					SPK23040241 00
	22	m2			単第0 -0020 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G03271601 レベル4
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)					SPK23040152 00
	0.5	m3			単第0 -0021 表
殻処分 【殻種別】					Y1G03271602 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

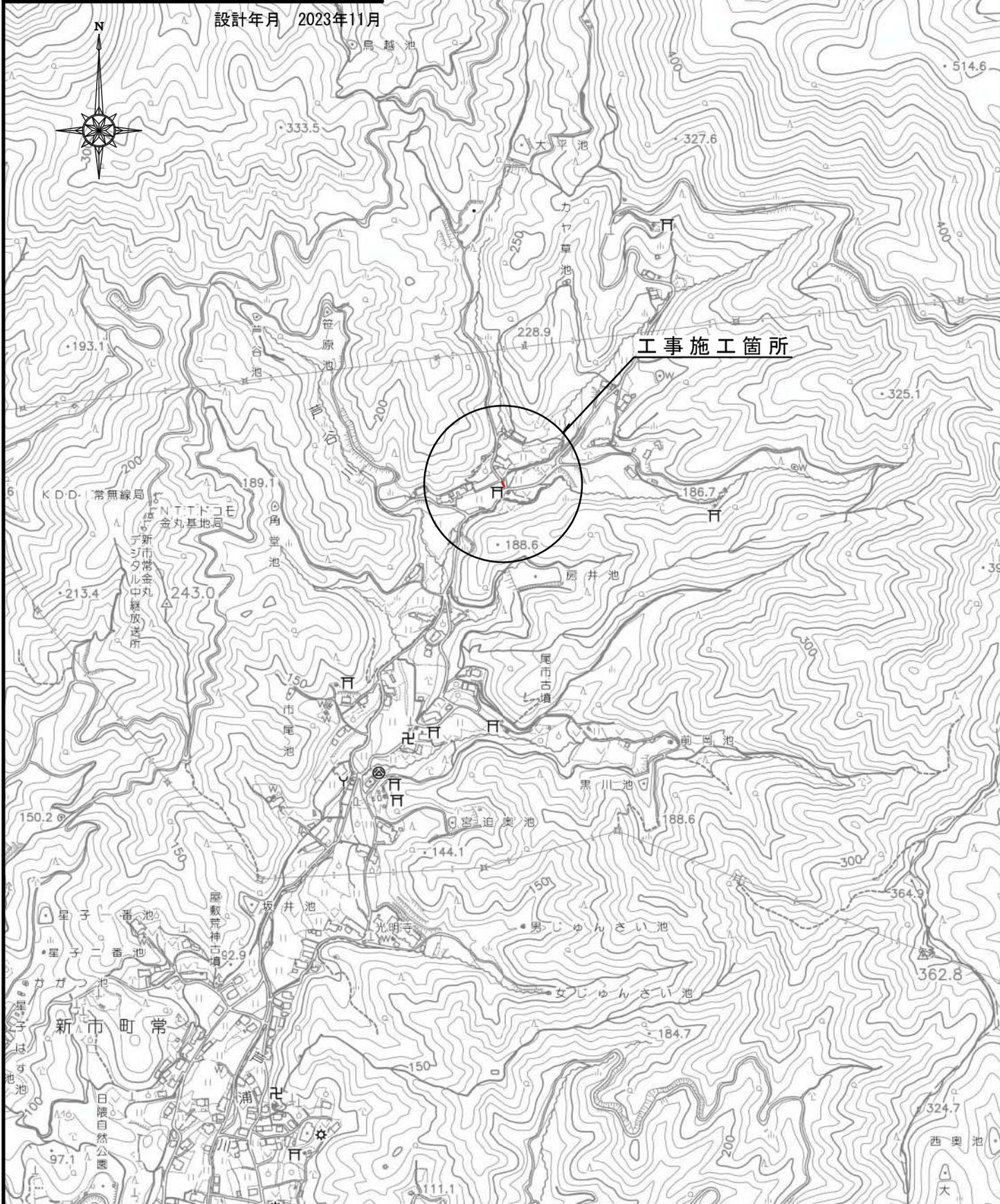
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊受入費 再生工場搬入					T9005 00
	1	t			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					

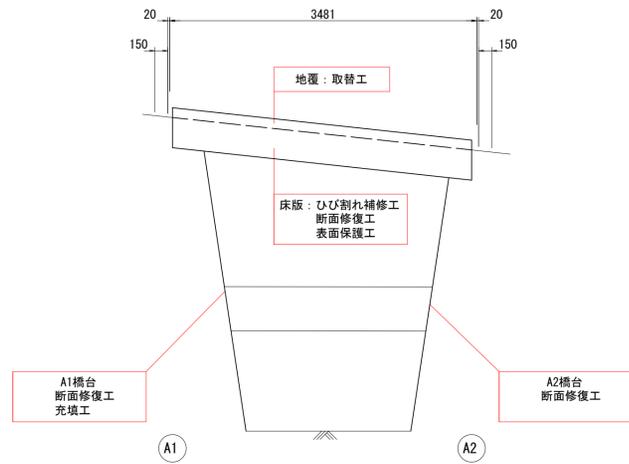
図面番号	1/7	縮尺	1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図	番号	1/1
路線名	カヤ草橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

設計年月 2023年11月

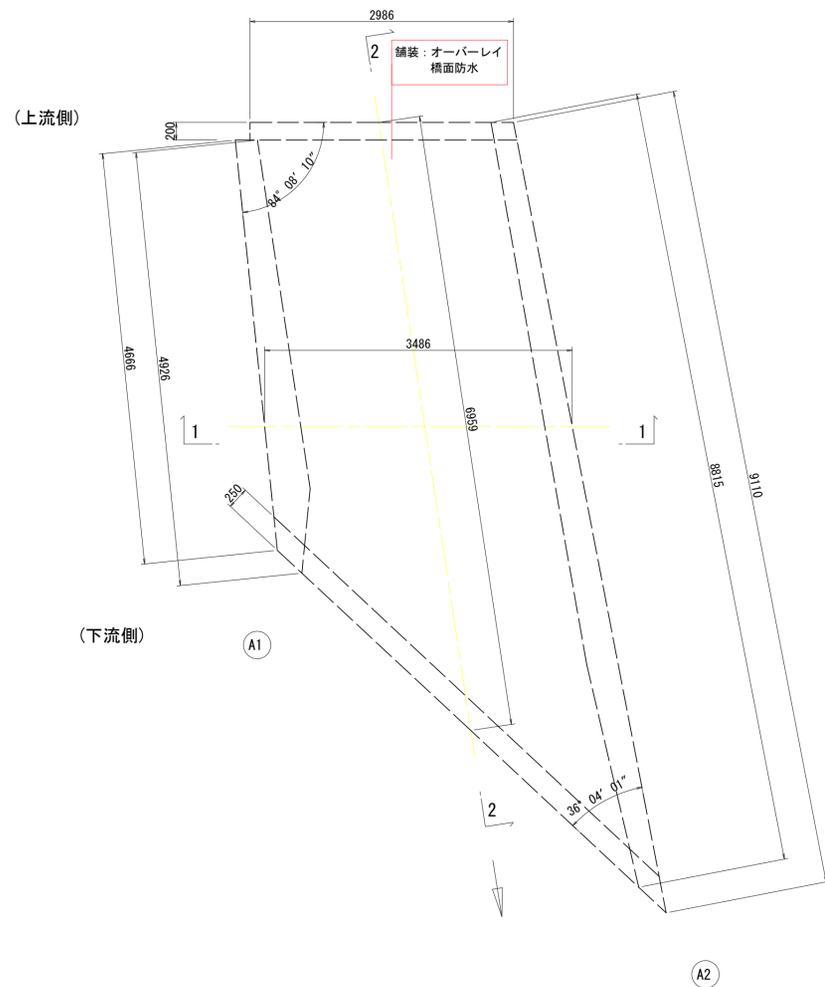


カヤ草橋 補修一般図 (RC床版) S=1:40

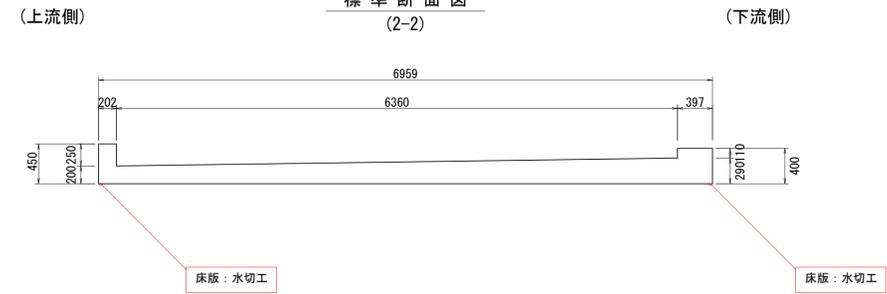
側面図 (1-1)



平面図



標準断面図 (2-2)

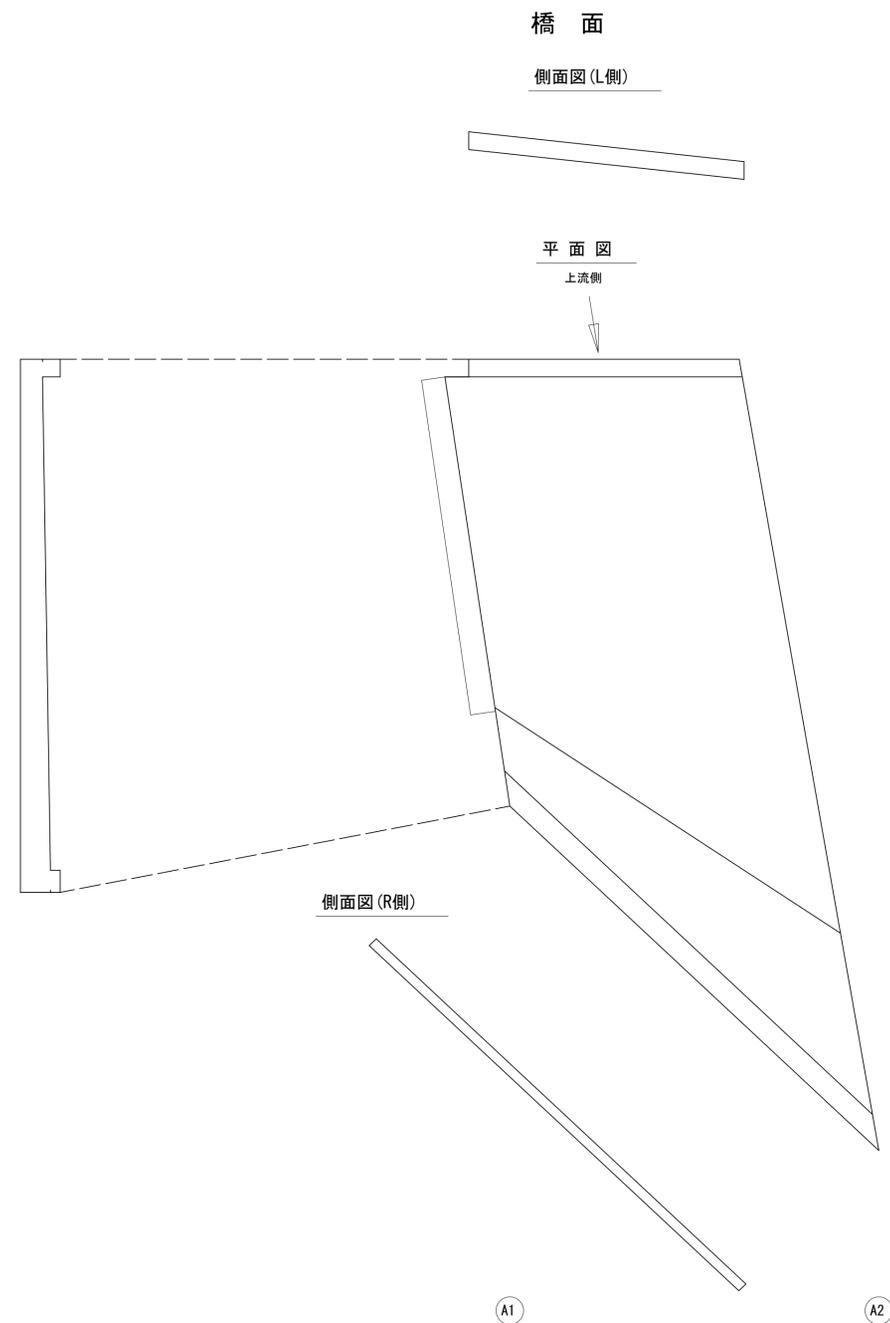
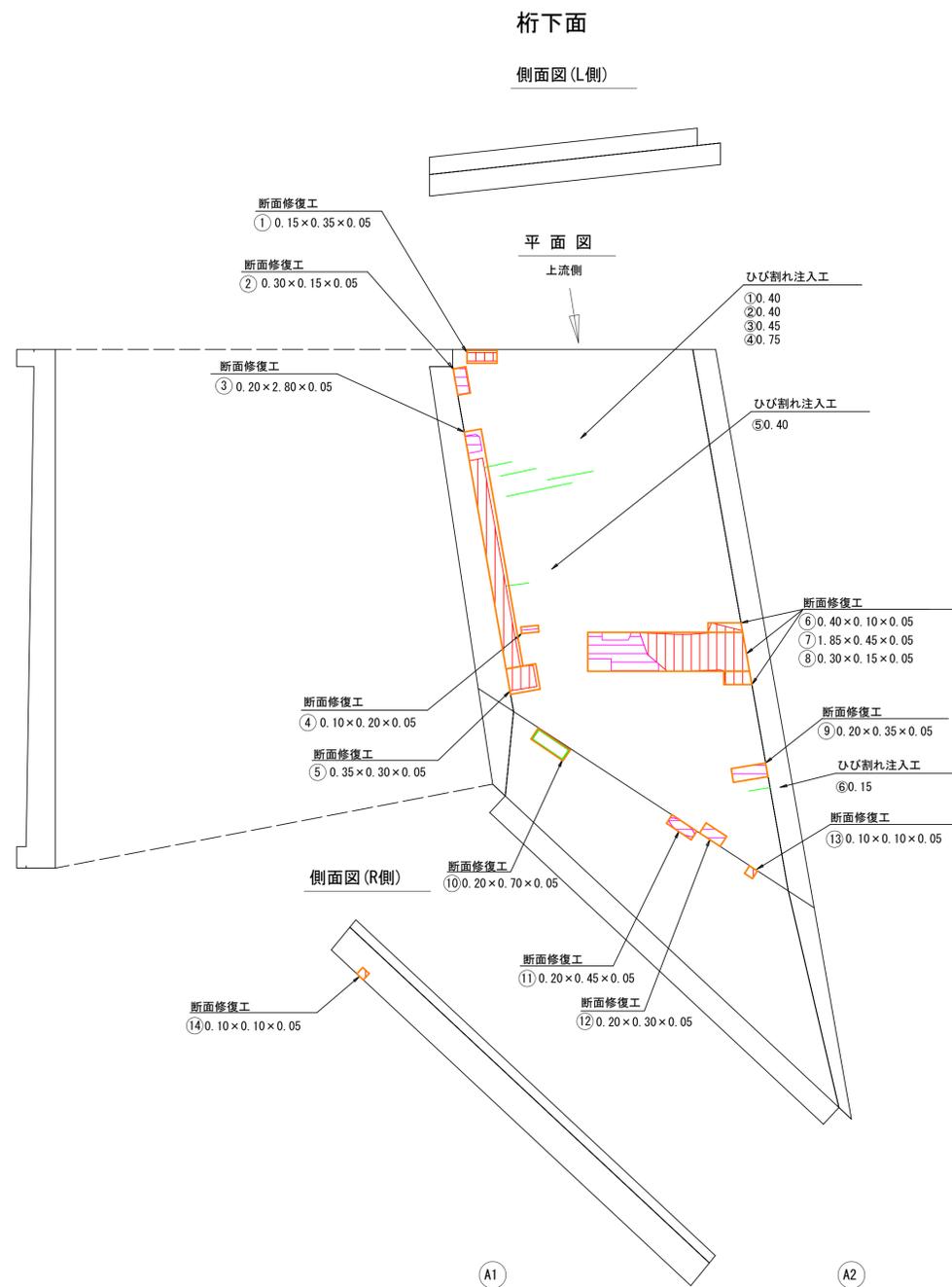


カヤ草橋

工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 2 月		
縮尺	1:40	図面番号	2 / 7
会社名			
事業者名	福山市		

カヤ草橋 補修図(その1)
(ひび割れ補修工, 断面修復工)

S=1:40



長さ (m)	ひびわれ L (m)	ひびわれ 0.2mm ≤ W < 1.0mm	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂3種)
	剥離 W(m) × W(m) × t(m)	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)	
	鉄筋露出 W(m) × W(m) × t(m)		
	うき W(m) × W(m) × t(m)		
	その他		

カヤ草橋	
工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)
図面名	補修図(その1)
作成年月日	令和5年2月
縮尺	1:40 図面番号 3 / 7
会社名	
事業者名	福山市

カヤ草橋 補修図(その2)
(断面修復工, 充填工)

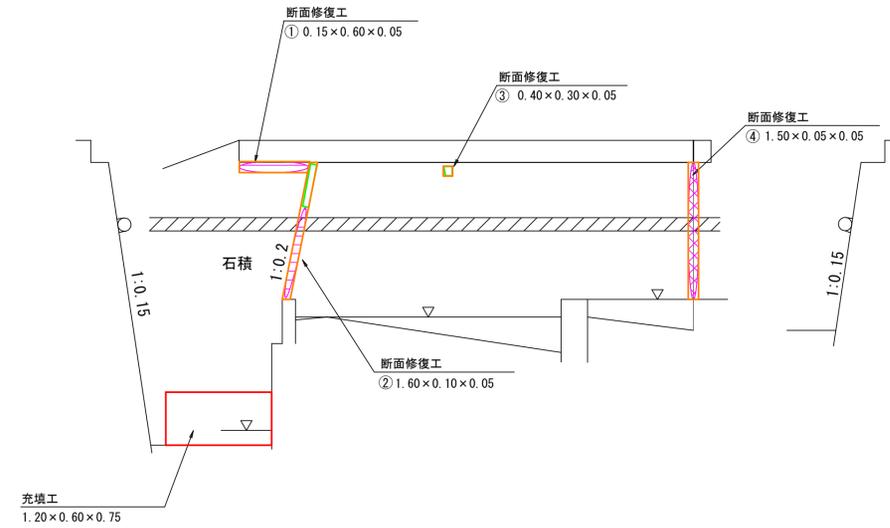
S=1:40

A1橋台

側面図(R側)

正面図

側面図(L側)

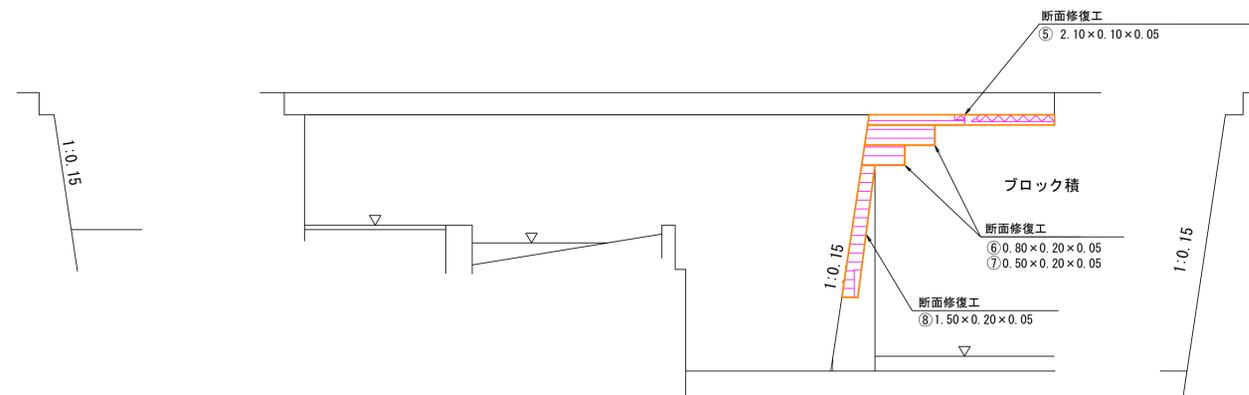


A2橋台

側面図(L側)

正面図

側面図(R側)



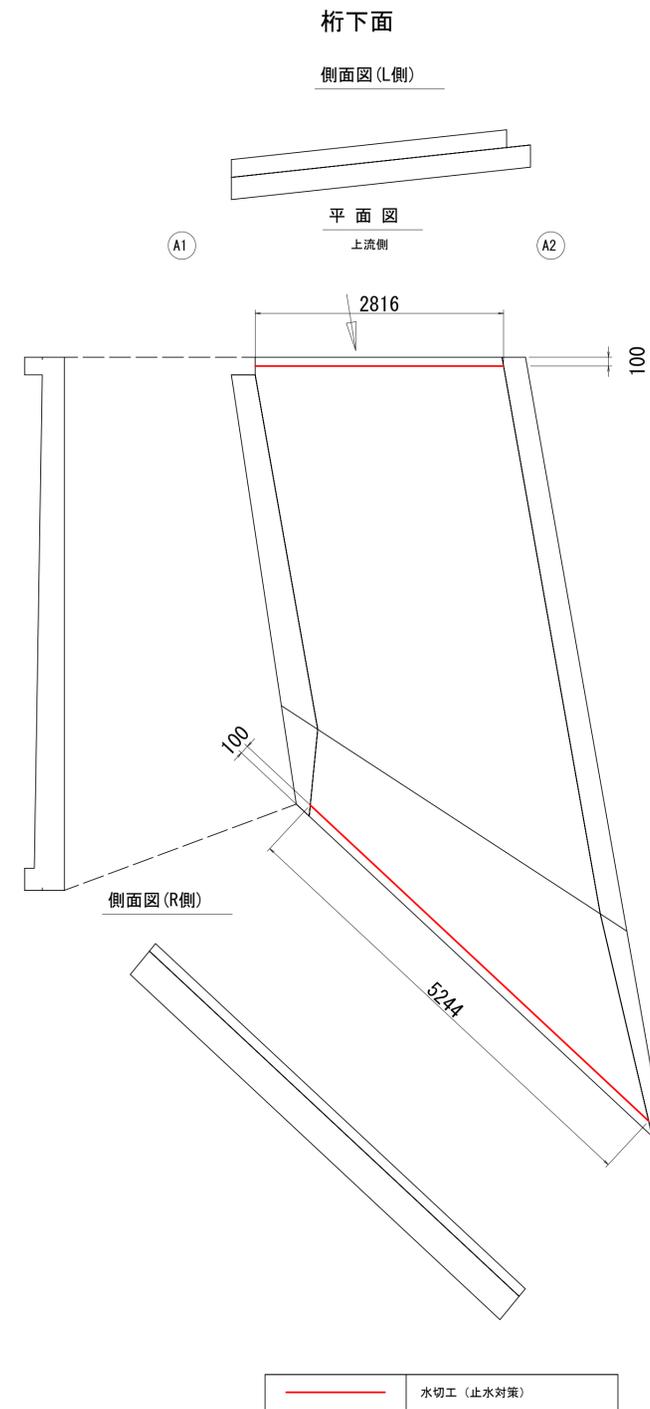
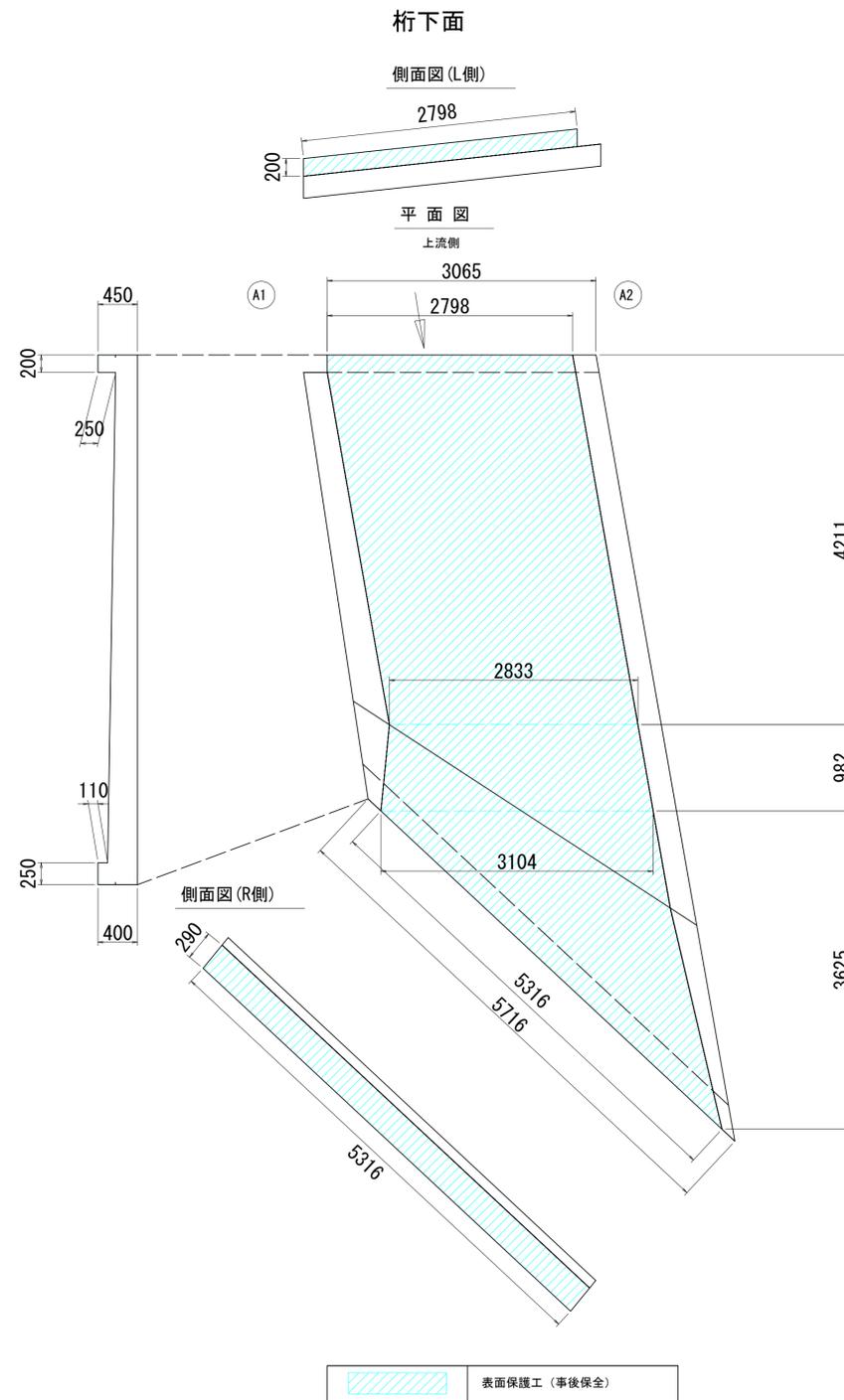
断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)		剥離 W(m) × W(m) × t(m)
		うき W(m) × W(m) × t(m)
		その他

カヤ草橋

工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和5年2月		
縮尺	1:40	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	福山市		

カヤ草橋 補修図(その3)
(表面保護工, 水切工)

S=1:40



カヤ草橋

工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和5年2月		
縮尺	1:40	図面番号	5 / 7
会社名			
事業者名	福山市		

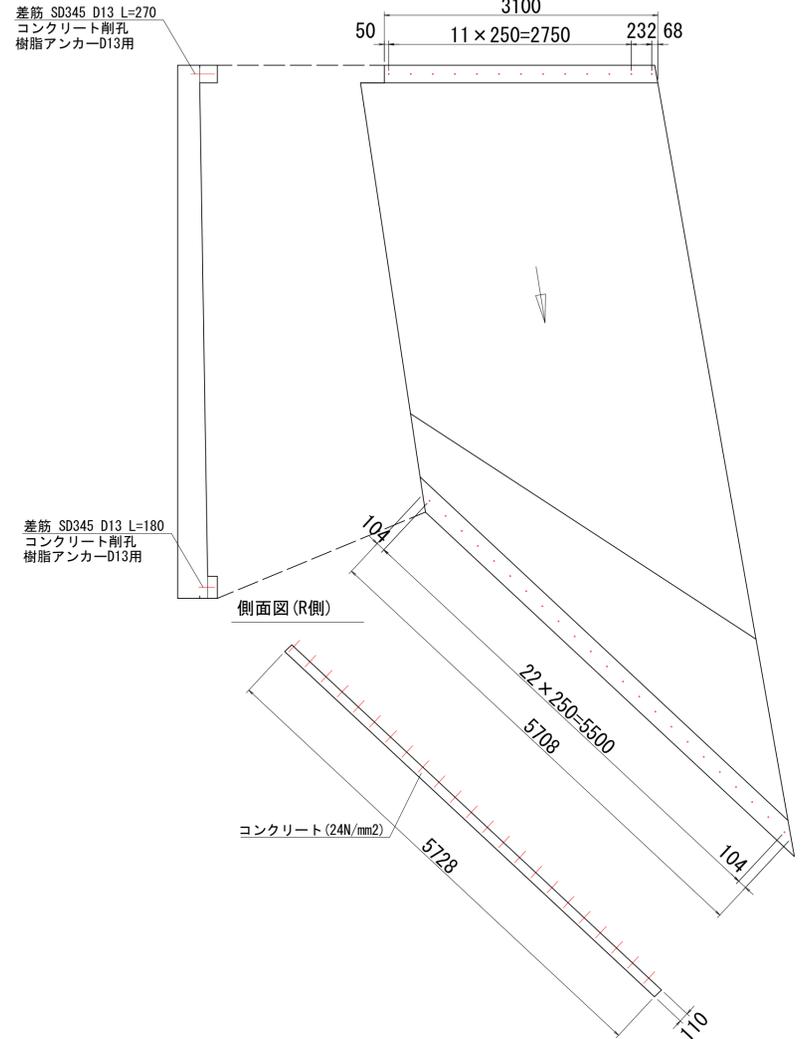
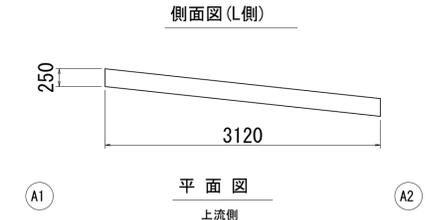
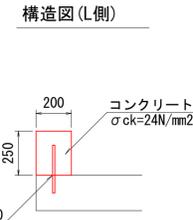
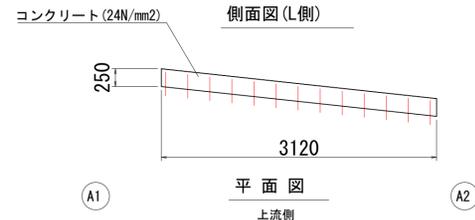
カヤ草橋 補修図(その4)
(地覆取替工, 舗装工)

S=1:40

地覆取替 S=1:40

地覆取替 S=1:20

橋面 S=1:40



差筋 SD345 D13 L=270
コンクリート削孔
樹脂アンカー-D13用

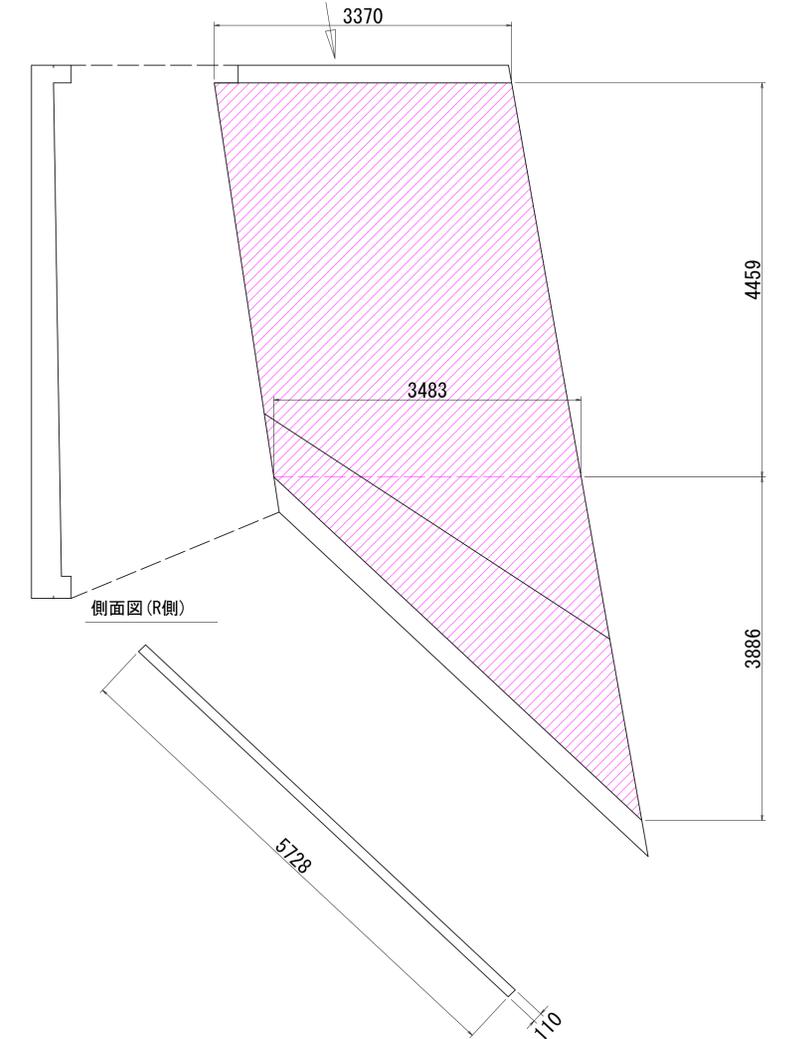
工種	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	0.05
型枠		m ²	0.50
鉄筋	SD345 D13	kg	1.07
樹脂アンカー	D13用	本	4.00
削孔		孔	4.00
コンクリート切断		m	1.00
構造物取壊し		m ³	0.05

1m当たり

差筋 SD345 D13 L=180
コンクリート削孔
樹脂アンカー-D13用

工種	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	0.03
型枠		m ²	0.22
鉄筋	SD345 D13	kg	0.72
樹脂アンカー	D13用	本	4.00
削孔		孔	4.00
コンクリート切断		m	1.00
構造物取壊し		m ³	0.03

1m当たり



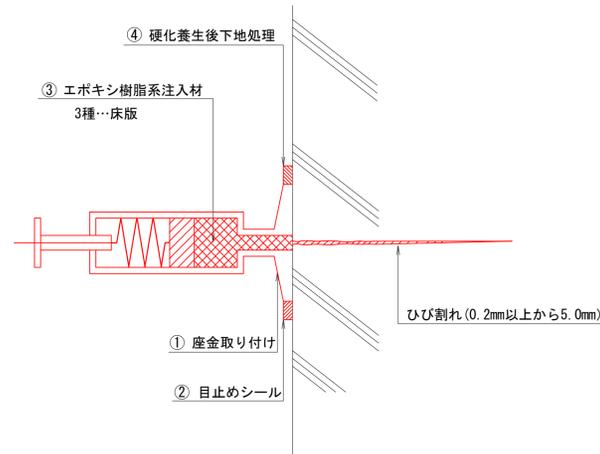
薄層舗装工 (橋面防水工業)

カヤ草橋

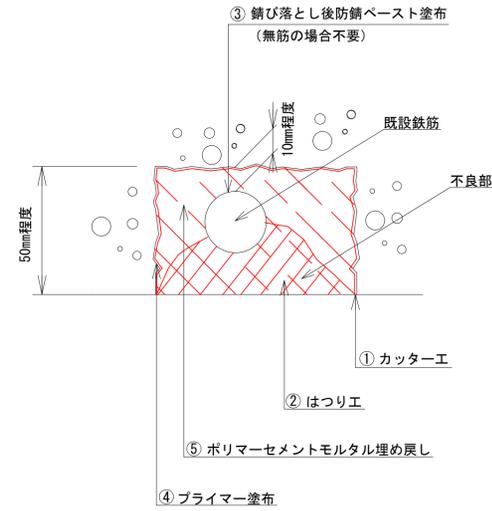
工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)
図面名	補修図(その4)
作成年月日	令和5年2月
縮尺	図示 図面番号 6 / 7
会社名	
事業者名	福山市

カヤ草橋 補修詳細図

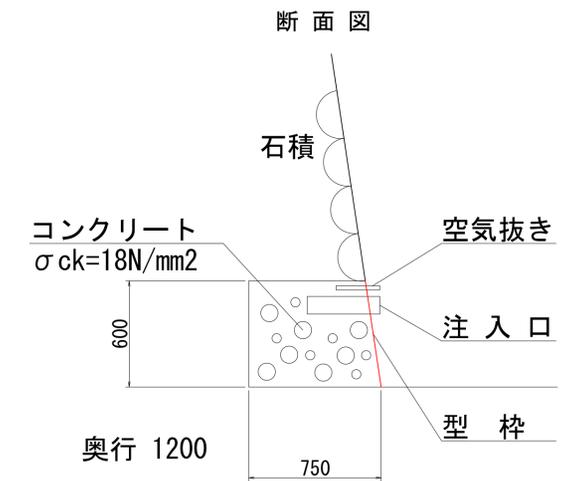
ひび割れ注入工 (収束したひび割れ)



断面修復工 t=5cm



充填工 石積基部 S=1:20

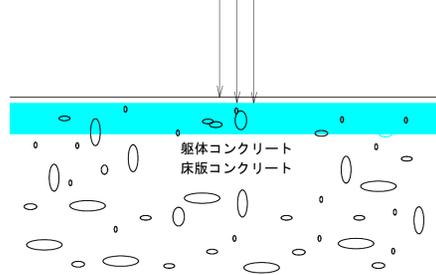


表面保護工 (事後保全)

(中性化事後保全対策: スーパーシールド工法相当)

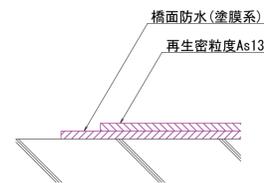
<基準使用量>
1/m²

- スーパーシールド (2回塗布) 1回目: 0.15Q/m² 2回目: 0.10Q/m²
- ストレングス剤 (補助工法) 1回目: 0.15Q/m² 2回目: 0.10Q/m²
- 下地処理 (洗浄→清掃)

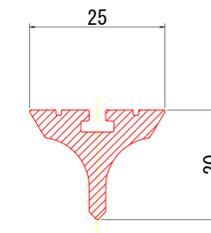


舗装工

平均t=20mm



水切工構造図 S=1:1



カヤ草橋

工事名	橋梁修繕工事 (カヤ草橋)
図面名	補修詳細図
作成年月日	令和 5 年 2 月
縮尺	— 図面番号 7 / 7
会社名	
事業者名	福山市

参考図書

施工単価表

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系注入接着剤(3種) BLグラウト100相当品	0.140	kg			
シール材 不飽和ポリエステル樹脂系シール接着剤 BLシール相当品	0.466	kg			
注入器具 低圧注入器具	10.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.14 D=0.34 F=10	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0004 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0005 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

下地処理

V1100

単第0 -0007 表

頁0 -0007

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.3	人			
特殊作業員	0.5	人			
普通作業員	0.3	人			
諸雑費	10.0	%			#01
*** 合計 ***	50	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

50 m2 当り

施工単価表

含浸材塗布（補助）

V1200

単第0 -0008 表

頁0 -0008

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
ストレンクス材 カルシウム付加・反応促進剤	14.4	L			
薬剤噴霧器他	1	式			
諸雑費	10.0	%			#01
*** 合計 ***	50	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

50

m2 当り

施工単価表

含浸材塗布

V1300

単第0 -0009 表

頁0 -0009

50

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.3	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.3	人			
表面保護材（スーパーシールド） ケイ酸塩系表面保護材（鉄筋腐食抑制型）	14.4	L			
塗布量確認材（パステスター） スーパーシールド専用塗布量確認材	1.0	セット			
薬剤噴霧器，給水タンク，発電機	1	式			
諸雑費	10.0	%			#01
*** 合計 ***	50	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

地覆取替工
L側

V5100

単第0 -0010 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.05	m3			単第0-0011 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.50	m2			単第0-0012 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.001	t			単第0-0013 表
樹脂アンカー D13用	4.00	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4.00	孔			単第0-0014 表
コンクリート切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	1.00	m			単第0-0015 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.05	m3			単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0011 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 44.86%

材料構成比: 55.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,616.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0012 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0014

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

単第0 -0014 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.41% 労務構成比: 95.01%

材料構成比: 2.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

613.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.15%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.81%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	46.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート切断
コンクリート舗装版

SPK23040306

単第0 -0015 表

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 4.91%

労務構成比:

45.05%

材料構成比: 50.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,096.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	3.32%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	47.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.77%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

地覆取替工
R側

V5200

単第0 -0017 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.03	m3			単第0-0011 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.22	m2			単第0-0012 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.001	t			単第0-0013 表
樹脂アンカー D13用	4.00	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	4.00	孔			単第0-0014 表
コンクリート切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	1.00	m			単第0-0015 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.03	m3			単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0022

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0020 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚20mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.49% 労務構成比:

45.53%

材料構成比: 53.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,272.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.17%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	53.72%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.21%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0020 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚20mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.49% 労務構成比: 45.53%

材料構成比: 53.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,272.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=20 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):20.000(mm)					

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0021 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,289.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

数量計算表

カヤ草橋 補修工数量計算書

1. ひび割れ補修工

①ひび割れ延長

損傷数量総括表から、0.2mm以上1.0mm未満のひび割れの数量より計上

$$L = 2.55 \text{ m}$$

②シール材

シール材幅 $b=30.00\text{mm}$ シール厚 $t=2\text{mm}$ と仮定する。

単位質量 1600kg/m^3 ロス率 1.37

$$W = 1600 \times 2.55 \times 0.030 \times 0.002 \times 1.37 = \underline{\underline{0.34 \text{ kg}}}$$

③注入材

エポキシ系注入材3種

単位質量 1150kg/m^3 ロス率 1.37

注入深さ $0.6 \times 200=120\text{mm}$ 平均注入幅 0.6mm の注入量。

注入器設置間隔 $a=250\text{mm}$

注入器設置数

$$N = 2.55 / 0.250 = \underline{\underline{10 \text{ 個}}}$$

$$\text{注入量 } W = 1150 \times 0.120 \times 0.00060 \times 2.55 \times 1.37 / 2 = \underline{\underline{0.14 \text{ kg}}}$$

2. 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル 左官工法)

(1)鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理含む

断面修復工集計表より

$$A = \underline{\underline{3.3 \text{ m}^2}}$$

$$V = \underline{\underline{0.17 \text{ m}^3}}$$

3. 充填工 (コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)

補修図 (その2) より

$$A = 1.20 \times 0.60 = \underline{\underline{0.72 \text{ m}^2}}$$

$$V = 1.20 \times 0.60 \times 0.75 = \underline{\underline{0.54 \text{ m}^3}}$$

4. 表面含浸工 (スーパーシールド工法相当)

上部工: コンクリートキーパー相当品

(1)下地処理

表面含浸工数量集計表より

$$A = \underline{\underline{22.5 \text{ m}^2}}$$

(2)含浸材塗布 (補助工法)

表面含浸工数量集計表より

$$A = \underline{\underline{22.5 \text{ m}^2}}$$

(3)含浸材塗布

表面含浸工数量集計表より

$$A = \underline{\underline{22.5 \text{ m}^2}}$$

5. 地覆取替工

(1) L側
L = 3.1 m

(2) R側
L = 5.7 m

6. 水切設置工

橋梁床版用後付け型水切り

$$L = 2.82 + 5.24 = \underline{8.06 \text{ m}}$$

7. 舗装工

(1) 橋面防水

舗装工数量集計表より

$$A = \underline{22.1 \text{ m}^2}$$

(2) オーバーレイ

舗装工数量集計表より

$$A = \underline{22.1 \text{ m}^2}$$

8. 運搬処理工

(1) Co殻運搬

断面修復工

$$V = 0.17 \text{ m}^3$$

地覆取替工

L側

$$V = 0.05 \times 3.1 = 0.16 \text{ m}^3$$

R側

$$V = 0.03 \times 5.7 = 0.17 \text{ m}^3$$

$$= \underline{0.50 \text{ m}^3}$$

(2) Co殻処分

無筋

$$W = 0.50 \times 2.35 = \underline{1.17 \text{ t}}$$

ひび割れ補修工集計表

部位	ひび割れ延長					
	0.2mm以上 1.0mm未満				1.0mm以上	
	位置	長さ(m)	位置	長さ(m)	位置	長さ(m)
左側地覆						
床版下面	1	0.40	6	0.15		
	2	0.40				
	3	0.45				
	4	0.75				
	5	0.40				
右側地覆						
路面						
小 計	2.55				0.00	
A1橋台						
A2橋台						
小 計	0.00				0.00	
合 計	2.55				0.00	

断面修復工集計表

	部位	位置	寸法 (m×m)	補修面積 (m2)	補修深さ (m)	補修体積 (m3)
上部工	左側地覆		×			
			×			
			×			
	床版下面	1	0.15 × 0.35	0.053	0.050	0.003
		2	0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.002
		3	0.20 × 2.80	0.560	0.050	0.028
		4	0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.001
		5	0.35 × 0.30	0.105	0.050	0.005
		6	0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.002
		7	1.85 × 0.45	0.833	0.050	0.042
		8	0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.002
		9	0.20 × 0.35	0.070	0.050	0.004
		10	0.20 × 0.70	0.140	0.050	0.007
		11	0.20 × 0.45	0.090	0.050	0.005
		12	0.20 × 0.30	0.060	0.050	0.003
		13	0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.001
		14	0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.001
	右側地覆		×			
			×			
			×			
路面		×				
		×				
		×				
小計				2.081		0.106
下部工	A1橋台	1	0.15 × 0.60	0.090	0.050	0.005
		2	1.60 × 0.10	0.160	0.050	0.008
		3	0.40 × 0.30	0.120	0.050	0.006
		4	1.50 × 0.05	0.075	0.050	0.004
	A2橋台	5	2.10 × 0.10	0.210	0.050	0.011
		6	0.80 × 0.20	0.160	0.050	0.008
		7	0.50 × 0.20	0.100	0.050	0.005
		8	1.50 × 0.20	0.300	0.050	0.015
小計				1.215		0.062
合計				3.296		0.168

表面含浸工集計表

部位	計算式 (m)	面積 (m ²)	備考
上部工:スーパーシールド工法相当			
床版左側側面	0.200×2.798	= 0.56	
床版下面	$1/2 \times (2.798 + 2.833) \times 4.211$	= 11.86	
床版下面	$1/2 \times (2.833 + 3.104) \times 0.982$	= 2.92	
床版下面	$1/2 \times 3.104 \times 3.625$	= 5.63	
床版右側側面	0.290×5.316	= 1.54	
合 計		22.51	

舗装工集計表

部位	計算式 (m)	面積 (m ²)	備考
路面工:オーバーレイ			
路面	$1/2 \times (3.370 + 3.483) \times 4.459$	= 15.28	
路面	$1/2 \times 3.483 \times 3.886$	= 6.77	
合 計		22.05	